

事例38

< 事例概要 >

空気塞栓

- ① 90 歳代、誤嚥性肺炎、脳梗塞、高血圧、認知症、廃用症候群の患者。
- ② 栄養管理のため、中心静脈カテーテルを留置予定。
- ③ BMI 19.1 kg/m<sup>2</sup>。脱水あり。円背あり。抗血栓薬の使用は無。
- ④ 円背が強く仰臥位になれず、左側臥位で右内頸静脈より透視下で穿刺。カテーテル挿入後、逆血を確認した。透視でカテーテルの位置を確認するため仰臥位に体位変換。位置確認後、再び左側臥位へ戻し、縫合を終了したところ呼吸停止となり、穿刺から約1時間後に死亡。
- ⑤ 死因は、空気塞栓症（疑い）。死亡時画像診断（Ai）有（右房、右室に空気濃度の陰影。肺動脈内は、ほぼ空気濃度の陰影に置換）、解剖無。